

原嘉道 はらかみち 辯護士、政治家、美術品蒐集家。慶應二年一月十八日信濃國上高井郡須坂生れ。昭和十九年八月七日歿（八七—一九四四）。幼名龜太郎。號信峰、子明。明治二十三年帝國大學法科大學法律科第一級卒業。農商務省に入り、二十六年退官して辯護士開業、傍ら東京專門學校、東京法學院、學智院、東京帝大で法學を講じた。四十四年東京辯護士會會長、昭和二十一年司法大臣に就任し、治安維持法改正を推進。五年中央大學學長、十五年樞密院議長。美術を好み、和洋繪畫、工藝彫刻に互に蒐集家としても知られた。

著書 「辯護士生活の回顧」。また蒐集美術品に就いては、藤井石童著『喜壽の樞密院原嘉道翁』（昭和十八年八月五日大東亞美術院）「昭和美術白家選」に詳しく記す。

